

(7) これからの村の農業

①農業の大切なわけ

私たちが生きていくためには、食べ物はなくてはならないものです。この食べ物を生産するのが、農業です。自然の力を利用して、安全で新鮮な食べ物を生産する大切な職業です。

また、農業には、四季おりおりの自然があり、社会全体に「うるおい」を与えています。洪水などの災害を防ぐ働きもあります。

②これからの農業

わが国では米は自給する考えですが、生産が多くなっているため、米の生産量と消費量がつりあうように生産を調整しています。つまり稲を作る水田を減らして、稲にかわる作物、例えば、そば、大豆、野菜、くだもの、花類などをつくり、牛や豚などの畜産と組み合わせて、より利益を上げるしくみです。

わたしたちの村でも、稲の生産調整で、労働力が少なくてすむそばや大豆が作られています。これからの農業では、次のようなことが考えられています。

- ①寒い冬でも栽培できるように、ハウス栽培をもっと工夫して利益のあがる作物を多く作る。
- ②田のくぎりを大きくして、機械が入りやすいようにし、水を入れる水路を整えたり、道路を整えたりする。(圃場整備や土地改良)
- ③農家の一人一人が機械をもっていたのでは、お金がかかりすぎ、機械を有効に利用されないため大型トラクターなどの機械の共同利用やコンクリーエレベーターを利用して生産費を低くおさえる。
- ④農業をやめる人から田や畑をかりて耕作面積をふやすようにするなど借地や機械作業を受けて行う。